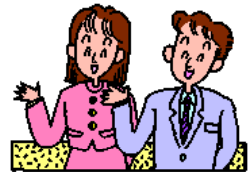




平成24年度 講座案内 年間計画



講座名		イキイキ人間学 (人権教育連続講座)	
<p>人権が尊重され、明るく住みよいまち倉敷をつくるためには、一人ひとりが生きがいをもち、地域に住む人全員の幸せを願うことの必要性について、一人でも多くの人たちが力をあわせ、理解と協力の輪を広げていくことが大切です。</p> <p>そこで、今年度も人権意識の高揚をめざして、イキイキ人間学講座を次のとおり計画いたしました。市民の方をはじめ、人権学習推進委員会の推進委員、事務局員等ふるってご参加ください。</p>			
時刻・会場		14:00～16:00 ライフパーク倉敷 中ホール	
(1) 7月20日(金) (中ホール)	福山市立大学児童教育学 科教授 八重樫 牧子 先生	<p>「子どもの権利～倉敷市子ども条例」</p> <p>・子どもは未来の希望であり、社会の宝です。子どもが健やかに生まれ、育つことはみんなの願いであり、そのための環境づくりに取り組むことは大人の努めです。平成24年4月から、倉敷市子ども条例が施行されています。子どもの権利とは何か、子どもの権利を守るために私たちは何をしなければいけないのかということについて考えていきます。</p>	
(2) 8月31日(金) (中ホール)	川崎医科大学附属病院神経 内科部長 砂田 芳秀 先生	<p>「認知症に向き合う」</p> <p>・人が長生きすると認知症は避けられないのか?高齢化が進む先進国は、認知症高齢者の増加という共通した問題に直面しています。認知症の人にどのように向き合えばいいのか? 認知症を正しく理解し、認知症を抱えても安心して生活できるコミュニティをつくる必要があります。</p>	
(3) 9月26日(水) (中ホール)	沖縄民謡歌手 玉城 貞子 先生	<p>「沖縄音楽が結んだ人間愛」・・・講演と島唄ライブ・・・</p> <p>・今や沖縄音楽(唄・三線)は、世界中にその音色を届け、人々の心と命までもつなぐ力を持っています。薄れていく人間の情けを今も深く残っている沖縄の島唄、教訓の言葉を伝え、人と人との心を結んでいきます。</p>	
(4) 10月23日(火) (中ホール)	社会心理学講師・カウンセラー 市場 恵子 先生	<p>「DVや虐待を防ぐために」～今、私たちにできること～</p> <p>・家庭内で起きるDVや虐待は、被害者が誰にも相談できず密室で持続しやすいといわれます。誰もが安心して暮らせる地域や家庭をつくっていくために、私たち一人ひとりに何ができるか、ご一緒に考えてみましょう。</p>	
(5) 11月13日(火) (中ホール)	倉敷市障害児学級親の会08 会「すてっぷ」 安藤 希代子 先生	<p>「子どもと共に育った16年」</p> <p>・障がい者を家族に持つということはどのようなことだと思われませんか。「大変」「苦労」「かわいそう」なことでしょうか? それはものの見方、感じ方、考え方のすべてに影響し、見えていなかったものが見えてくる経験です。子育てを通して目に見えないフィルターに気がつく、そんなお話をしたいと思います。</p>	
<p>対 象 ・市民 ・推進委員 ・事務局員 等 約60名</p> <p>一括申込みの申込み締め切りは、6月22日(金)としますが、その都度申込み参加することもできます。</p> <p>問い合わせは、ライフパーク倉敷 市民学習センター(係)野島 治・白神 実まで</p> <p>☎:086-454-0011</p>			



各中学校区で人権学習推進委員1名は、必ず参加してください。

諸会議や機会あるごとに、イキイキ人間学講座への参加を呼び掛けるとともに、研修成果を発表する場の設定についてもご配慮ください。

基幹公民館においては、地区公民館長会などで随時紹介し、一人でも多くの参加者を募ってください。